

— 衛星情報を活用した農業施設の強靱化 —

JAXA認定ベンチャー株式会社天地人は、2018年に開催された内閣府宇宙ビジネスコンテスト「S-Booster 2018」で「宇宙から見つけるポテンシャル名産地」の提案を行いトリプル受賞（特別審査員賞、ANAホールディングス賞、JAL賞）をきっかけに、2019年5月に株式会社天地人を設立。地球温暖化等の気候変動が農林水産業に様々な形で影響を与えている現代、リスクの高い場所を避け、的確な農業防災の対策に役立つ情報を可視化する土地評価サービス『天地人コンパス』を活用して、持続可能な農業の取組を皆様と共に作り上げていきます。

■事業について（衛星データを使った土地評価コンサルティング）

衛星のビッグデータをはじめとする様々なデータをもとに、解析、可視化、データ提供を総合的に行う土地評価サービス『天地人コンパス』を活用して、農業などの一次産業だけでなく、不動産、エネルギー、金融、教育など幅広い分野で土地に関する意思決定をサポート。

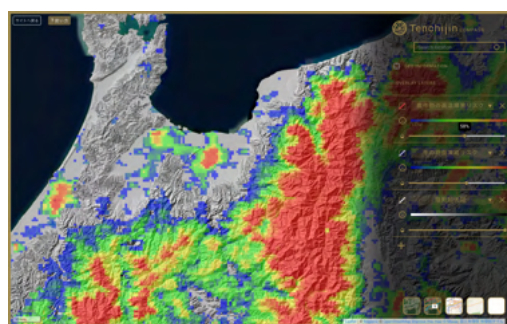


■技術について

日本全国の農地や施設など事前に農業を行う上でリスクの高い場所を避け、的確な農作物被害の対策に役立つ情報を可視化できる『天地人コンパス』を活用して、地域に密着した気象情報の可視化とAIを用いた短期予測。

（天地人コンパスとは？）

NASAやJAXAなどの政府機関および民間事業者から衛星データの収集を行い、ピンポイント気象情報(日射量や雨量、温度など)を分析可能な特許申請済みの土地評価サービス。



■国土強靱化への活用

①弊社ソリューションの優位性は、衛星データを使うことにより、気象観測インフラの整っていない場所も含めた広域の土地評価や防災情報を取得ができる点にある。気象観測インフラの存在していない地域では、衛星による過去データの分析が唯一の情報源となる。

②自社で衛星を開発から打ち上げ運用まで行う企業は自社データの情報しか扱えないが、世界中の衛星開発事業者が運用する衛星データ200機以上との繋がりを活かし、最新の衛星データと地上センサーを組み合わせた土地評価サービス『天地人コンパス』を活用してお客様にコンサルティングできる。

■お問い合わせ先

株式会社天地人 河原田 保彦（かわらだやすひこ） info@tenchijin.co.jp